

[内装小面積向き]

ジョリパット不燃
JQ-200シリーズ
珪藻土風フラット仕上げ
施工の手引き

平成19年5月25日【初版】

アイカ工業株式会社
第二R&Dセンター
建設樹脂開発グループ

<使用材料>

材 料	商 品 名	概 要	荷 姿	標準施工面積
シーラー	ジヨリハットシーラー JS-500	水性タイプ アクリル系 1液型透明シーラー	18kg石油缶	約51.4㎡/缶
主 材	ジヨリハット不燃 JQ-200 シリーズ 標準色 JQ-200、JP-□□□□ (□…数字) 特注色 JQ - 200△○○○ (△…英字、○…数字)	アクリル共重合樹脂 水性仕上塗材	20kg缶	約 16㎡/缶
骨 材	JF-3 JF-1	寒水石3厘 寒水石1厘	20kg袋 20kg袋	約52.6㎡/袋 約 5.2㎡/袋

<主な施工道具>

- ・ ステンレスゴテ (角ゴテ)
- ・ スチロールゴテ (スタイロフォーム※のような発泡スチロールでも可)
- ・ 仕上げゴテ (ステンレス製の腰の柔らかいもの)

※スタイロフォームはザ ダウ ケミカル カンパニーの登録商標です。

<下地調整>

標準下地は、石膏ボード (プラスターボード) 又はモルタルとする。

<珪藻土風フラット仕上げ施工方法>

1. シーラー塗布

配 合	JS-500	18kg
	清 水	18ℓ
塗 布 量	0.07kg/㎡	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

3時間以上48時間以内

2. 主材 下塗り

- ・ ジョリパット不燃を無希釈で0.9kg/㎡となるようステンレスゴテで平滑に塗布する。

夏期 4時間以上

冬期 12時間以上

◎乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

3. 主材 配り塗り

配 合	JQ-200シーズ	20kg
	寒水石 3厘	2kg
	寒水石 1厘	20kg
	清 水	2~3ℓ
塗 布 量	約0.8kg/㎡	
施工道具	ステンレスゴテ ステンレスゴテで材料を薄く均一に配る。	

追かけ塗り (5分以内)

4. パターン付け

- ・ スチロールゴテを円状に動かし、部分的に寒水石が転がった跡をつける。(図-1)
- ・ スチロールゴテに付着したジョリパット不燃は、濡れウエスやブラシなどで洗い、常にきれいに保つ。

追かけ塗り (5分以内)

5. 押さえ (仕上げ)

- ・ 仕上げゴテを円状に動かし、表面が平滑になるよう押さえる。この時、コテムラを消す。(図-2)

24時間以上放置して乾燥させる。

<施工のポイント>

- ・ スチロールゴテを円状に動かし、寒水石3厘が転がるようランダムにパターンをつける(図-1)。この時、塗布量が多いと骨材が転がりにくい為、配り塗りはできるだけ薄くする。

スチロールゴテ

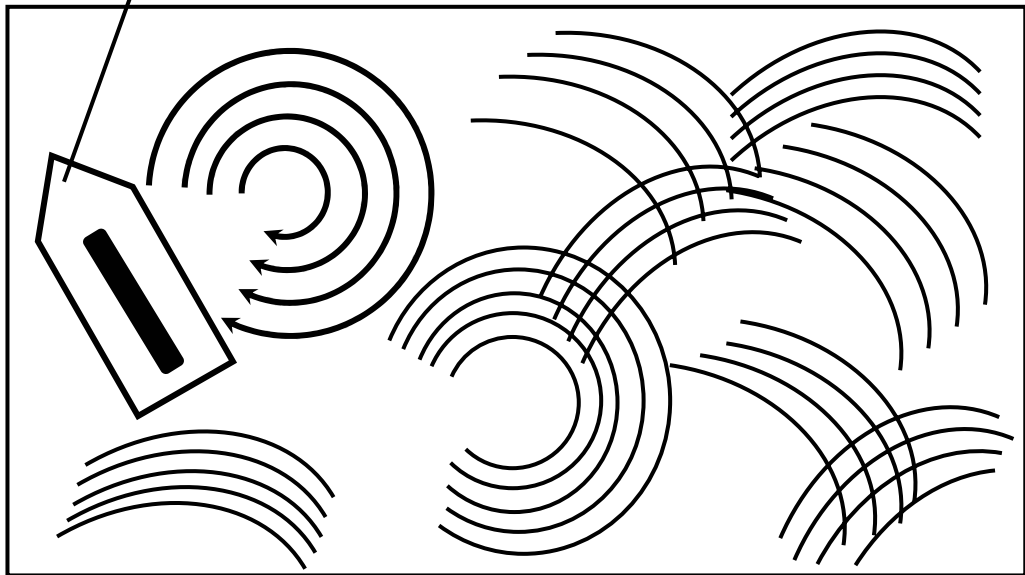


図 - 1

- ・ ジョリパット不燃の表面を仕上げゴテで平滑になるよう円状に押さえる(図-2)。押さえれば押さえる程、骨材の転がった跡は消える。

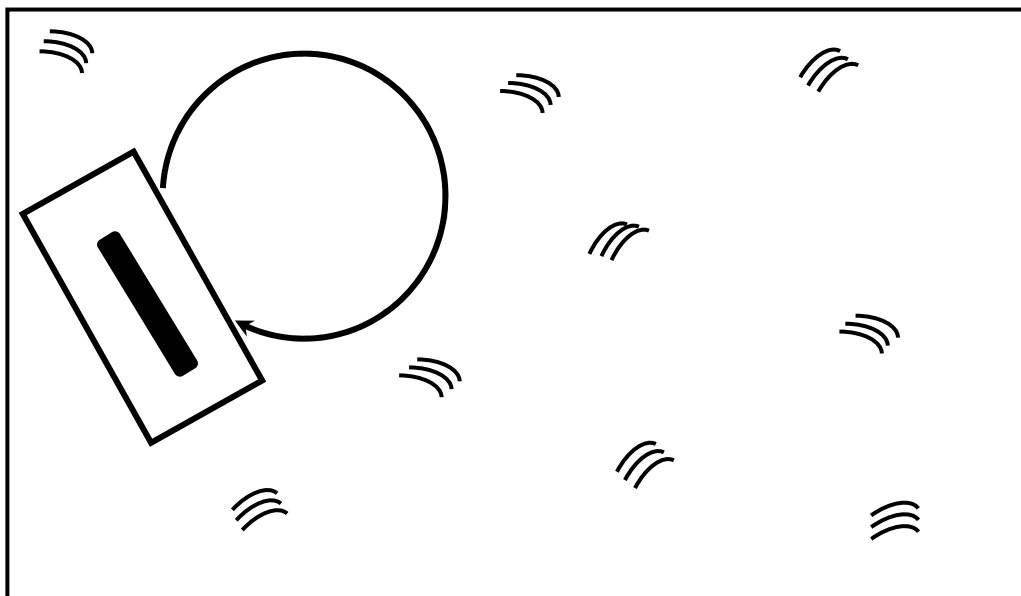


図 - 2

＜施工の注意事項＞

- ・ 施工場所の気温が5℃以下、湿度85%以上の場合、原則として施工を行わないで下さい。やむを得ず施工する場合は、採暖などの養生を行って下さい。
- ・ 材料の練混ぜはハンドミキサーなど機械練りとし、均一になるまで十分に練り合わせて下さい。
- ・ 施工前に必ずコンパネ等で試し塗りをを行い、仕上がり、乾燥性を確認して下さい。
- ・ 塗膜が薄く下地の不陸を拾いやすい仕上げのため、下地が平滑であることを確認してから施工して下さい。（特にモルタル下地や、ボードの継目では下地に不陸が出やすいため、下地を平滑に処理した後、施工して下さい。）
- ・ 乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。（特に大面積を施工する場合は、作業人工や化粧目地による分割を検討して下さい。）
- ・ 塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進める。

以 上

完全にコテムラなくフラットに仕上げることはできません。